

団体名	東京医科歯科大学 統合国際機構							
事業名	敷居が低く、参加しやすい国際理解への取り組み							
実施期間	2017年5月から2018年1月まで							
場 所	東京医科歯科大学、大学近隣の小中学校							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	105	0	7	135	18	24	8	297名

<実施内容>

本事業では、一般的に国際交流活動にはもともと興味や理解のある人のみが集まりがちになるという点を出発点とし、普段から訪れる場所である病院や学校といった場所で国際交流活動を行うことにより、より敷居が低く、参加しやすい場で留学生との交流活動を実施することを目的としました。実施事業は大きく以下の3つに分けられます。

1) 来学者に向けた留学生の発表

4月と9月に1回ずつ、学内において、学外からの来学者(特に本学の病院を訪れる方)も参加可能な形で留学生の発表を行いました。内容は出身国・地域に関することで、社会や文化、習慣といったことをパワーポイントを使いながら日本で発表し、その後、参加者と日本語及び英語で質疑応答を行いました。

2) 日本人学生と留学生との交流活動

本学では日本人学生と留学生が交流できる場を定期的にするようにしていますが、本事業では、特にお正月に合わせた交流活動を実施しました。まず、学内においてお正月の基礎知識の講義、及びお正月に関する習慣である鏡開きや書き初めをいったことを体験し、その後大学の近隣にある湯島天神を訪れました。

3) 小中学校を訪問しての交流活動

本学の近隣の小中学校各1校ずつを訪問し、留学生と児童・生徒との交流活動を実施しました。活動では、国/や留学生という括りではなく、個人について知ることができることを目的に、ゲームやグループワークなどを行いました。

<記録写真>



学内での留学生の発表



学内での日本人学生との交流



中学校での交流

<参加者からのコメント>

無記名/Anonymous(小中学生)

日本の字は、慣れているから書けるけど、ほかの国の文字をはじめて見て、とても書くのが大変だったので、外国の人から見ると日本語も大変なのだなと思った。

次は英語だけではなく、その人の国の言語を教わって、その言葉で会話したい

無記名/Anonymous(留学生)

初めは恥ずかしがっていた学生もいたが、活動やディスカッションが進むにつれ、どんどん積極的になってきた。この点で、少し自信がついた。(翻訳)

児童の熱心さが印象に残っている。想像よりとてもフレンドリーだったし、積極的だった。また、外国語の言葉を学ぶのがとても早かった。(翻訳)